

(地理的表示 (GI)「北海道」の指定)

平成30年6月、北海道は、地理的表示いわゆるGIにおいて、ワインに関し、山梨県に次いで、全国2番目となる指定を受けた(写真1, 写真2)。GIは、「正しい産地」であることと「一定の基準」を満たして生産されたことを示すことによって、地域で生産する食品のブランドを保護する制度で、例えば、北海道で収穫されたブドウのみを原料として製造するなど一定の条件をクリアすることでワインの産地名に「北海道」を表示できるもので、6月末時点で472銘柄が認定されている。(表3)



写真1 地理的表示 (GI)「北海道」マーク



写真2 官能検査風景

表3 GI「北海道」認定銘柄数の推移



(最近の北海道産ワインの動き)

昨年11月に、道内オリジナルのぶどう品種である山幸(やまさち)が、国際ブドウ・ワイン機構(OIV)に品種登録され、国内では、山梨の2品種(甲州, マスカットベリーA)に続く3番目の快挙となった。従来、EUに輸出するワインのラベルには「日本産ワイン」としか表示できなかったが、今後は「山幸」と品種名をアピールすることができる。品種の登録は、海外への販路拡大に向け大きなセールスポイントになるため、今回の登録を契機に海外から北海道がワイン産地として認知されていけばと関係者の期待は膨らむ。

また、フランスで300年続く老舗ワイナリーであるドメヌ・ド・モンティエユがアジアへの進出を検討する際に、気象条件や土壌などを比較・検討した結果、一昨年、道南の函館市内にブドウ農場を開設。世界のワイン関係者が北海道に注目している良い事例となった。

(北海道ワインアカデミーの開催)

こうした北海道産ワインを取り巻く動きに呼応し、道産ワインの品質・ブランド力の向上とワインづくりに携わる関係者間のネットワークの構築を目指すため、道では、平成27年度から道内でワイン醸造や醸造用ブドウの生産に携わる者を対象に、栽培・醸造技術の習得を通じ人材の育成を図る「北海道ワインアカデミー」(以下、「アカデミー」という。)(平成27年度は「ワイン塾」)を開講。名誉校長にはワインアンドワインカルチャー(株)の田辺由美代表取締役が就任し、道内ワイナリーをはじめ、北海道大学、札幌国税局、金融機関など産学官金が連携し、一体となり人材育成に取り組んでいる。(写真3)



写真3 アカデミー講義風景

(アカデミーのカリキュラム)

アカデミー全体の流れとしては、4月に受講希望者を募り、書類で選考された受講生は、翌年2月までの約10ヶ月間、ワイン業界で活躍する著名な講師陣から専門的・実践的な講義を受講する。

講師陣には北海道大学や山梨大学など国内の大学をはじめ、カリフォルニア大学デイヴィス校、ボルドー大学など海外の大学からも講師を招へいし、アカデミックな講義を中心としつつ、ブドウ生産者やワイン醸造家、資材関係者なども講師として招き、実践的な講義も多く取り入れている。

また、令和元年度から「栽培コース（10名程度）」と「醸造コース（10名程度）」に分けて実施し、より専門性に特化した受講内容としたほか、昨年度からは、販売力や経営力の強化を図るため、各コース共通の講義として「マーケティング・経営研修」を設け、技術だけではなく、販売力や経営力の向上を図っている。（表4 令和2年度アカデミーの講義一覧（最終ページに掲載））

この他、受講生間の交流を深めるとともに、問題意識を共有し、技術の向上を図ることを目的にSNSを活用したネットワーク環境を構築している。

(アカデミー開催の成果)

アカデミーの開講から6年が経過し、これまで145名の修了生を送り出し、このうち、14名(10事業者)が新規ワイナリーの開設に関わるなど、着実に成果を上げている。

また、修了後に受講生を対象としたアンケートでは、「栽培や醸造の最先端の研究を学び、ワインづくりの参考になった」、「今後のワイナリー開設に向けて大変励みになった」、「国内外の様々なワインをテイastingすることができて参考になった」など好評を得ている。

さらに、弊庁の出先機関でも、それぞれの地域事情に応じたきめ細やかなカリキュラムを学ぶことができる地域版ワインアカデミーを開講。道南の渡島・檜山地域と道東の十勝地域に続いて、昨年度は新たに道央の空知地域、後志地域においても取組がスタートし、人材育成の裾野を着実に拡大させている。

(北海道大学との連携)

アカデミーにおける北海道大学との連携は、開講当初から同大の講師が講義を担当し、令和元年度からはアカデミーの受託コンソーシアムの一員として参画するなど、カリキュラムの構成から講師陣の選定まで幅広く携わっている。

こうした中、北海道大学では、今年4月1日にワイン研究の寄附講座「北海道ワインのヌーヴェルヴァーグ研究室」を学内に開設。この講座はワイン振興に向けた研究、教育を行うことを目的に、道内の企業や団体から寄せられた寄附金をもとに設置され、アカデミーと連携し、講義内容の充実を図るとともに、大学院共通講義や市民向けセミナーも実施する。

(今後の展望)

北海道大学では、この寄附講座を足がかりに、ワイン産業の持続的発展に向けて、ワイン産業を牽引する人材の育成とワイン生産技術の開発研究を進めるための「(仮称)北海道ワイン研究センター」の設立を目指している。

弊庁では、この取組と相互に連携を図りながらアカデミーを実施し、今後、北海道が世界に通用するワインの銘醸地として国内外から認知されるよう取組を進めていく。

表4 令和2年度アカデミーの講義一覧

日付	場所	講師名	所属	テーマ	種別
6月25日	TKPガーデンシティ札幌駅前 ホール3D	後藤 奈美	独立行政法人酒類総合研究所 理事長	<オンライン講義>日本のワイン、北海道のワイン	基調講演
6月26日	TKPガーデンシティ札幌駅前 ホール3D	橋本 佳往	一般社団法人流通問題研究協会 専務理事	地域に根差したマーケティング マーケティングの基本	マーケティング
		田村 茂	Office Igatta 代表	マーケティングの心	
		橋本 佳往	一般社団法人流通問題研究協会 専務理事	グループ討議-私が思うマーケティング	
7月16日	北大フード&メディカル イノベーション国際拠点(FMI) 1階多目的ホール	鈴木 卓	北海道大学大学院農学研究院 教授	寒冷地における果樹全般について	栽培コース
		中尾 義則	名城大学農学部 准教授	ブドウの栽培生理生態学	
		西岡 一洋	東京大学大学院農学生命科学研究科 附属生態調和農学機構 特任研究員	ブドウ栽培のスマート化(樹液流センサー等)	
		野口 伸	北海道大学大学院農学研究院 教授	ブドウ栽培のスマート化(栽培機械に関して)	
7月17日	北大フード&メディカル イノベーション国際拠点(FMI) 1階多目的ホール 2階オープンカフェ	増田 税	北海道大学大学院農学研究院 教授	植物ウイルスについて	栽培コース
		中馬 いづみ	帯広畜産大学畜産学部 准教授	ブドウの病気について	
		柏木 淳一	北海道大学大学院農学研究院 講師	ブドウ畑の土壌成分について	
8月20日	北大フード&メディカル イノベーション国際拠点(FMI) 1階多目的ホール	田辺 由美	北海道ワインアカデミー名誉校長	ワインテイasting(地域別単一品種の比較)	醸造コース
		James Harbertson	ワシントン州立大学 准教授	<オンライン講義>Investigation of Atypical Aromas in Cabernet Sauvignon Wines Caused	
		奥田 徹	山梨大学ワイン科学研究センター センター長 教授	<オンライン講義>醸造の基礎	
		橋渡 規	北海道立総合研究機構 食品加工工センター 食品開発部 発酵食品グループ 主任主査	北海道における取組・支援事例	
8月21日	北大フード&メディカル イノベーション国際拠点(FMI) 1階多目的ホール 2階オープンカフェ	菅根 輝雄	北海道大学大学院農学研究院 連携研究部門連携推進分野 応用分子生物学研究室 教授	ワイン醸造に影響を及ぼす微生物について	醸造コース
		川邊 久之	エノリユーション 代表	サニテーションの役割と微生物について	
		武井 喜美男	北海道ワイン(株) 工場管理・醸造部 工場長兼部長	ワイン醸造機器の購入準備とトラブル対応について	
		石黒 雄次	札幌国税局 課税第二部酒税課 主査	酒類製造免許の申請と取得について 酒税の申告、納付や記録について	
		杉野 孝博	札幌国税局 課税第二部酒税課 団体企業係長	果実酒の製法品質・地理的表示に関する表示基準について	
		北山 賀隆	札幌国税局 課税第二部鑑定官室 主任鑑定官	国税局の技術支援について	
		田辺 由美	北海道ワインアカデミー名誉校長	ワインテイasting	
		川邊 久之	エノリユーション 代表	～北海道で栽培されるブドウ品種をテーマに～	
8月24日	田崎ヴィンヤード(余市町)	田崎 健	田崎ヴィンヤード 園主	ワイン専用種ブドウ専業栽培 導入初期からの栽培管理の取組み	栽培コース
		増田 税	北海道大学大学院農学研究院 教授		
		小林 千洋	北海道ワイン(株)営業部 次長		
		大西 良人	北海道ワイン(株)営業部営業企画課 課長		
	受講生:冨田 哲 バーガンディー株式会社 自社畑(余市町)	増田 税	北海道大学大学院農学研究院 教授	受講生のブドウ畑の現状と抱えている 課題について	
		小林 千洋	北海道ワイン(株)営業部 次長		
		大西 良人	北海道ワイン(株)営業部営業企画課 課長		
		増田 税	北海道大学大学院農学研究院 教授		
	受講生:喜久 雅史 自社畑(余市町)	小林 千洋	北海道ワイン(株)営業部	受講生のブドウ畑の現状と抱えている 課題について	
		大西 良人	北海道ワイン(株)営業部営業企画課 課長		
		上田 一郎	(株)自然農園グループ 代表取締役		
		増田 税	北海道大学大学院農学研究院 教授		
株式会社自然農園グループ 自社畑(仁木町)	小林 千洋	北海道ワイン(株)営業部 次長	ワイン専用種ブドウ専業栽培 有機認証圃での栽培管理		
	大西 良人	北海道ワイン(株)営業部営業企画課 課長			
	山崎 太地	有限会社山崎 ワイナリー 栽培担当			
8月25日	山崎ワイナリー 自社畑(三笠市)	山崎 太地	有限会社山崎 ワイナリー 栽培担当	自社栽培～自社醸造にこだわった ワインづくりにおける栽培管理	栽培コース
		柏木 淳一	北海道大学大学院農学研究院 講師		
		実山 豊	北海道大学大学院農学研究院 講師		
	受講生:濱田 洋文 濱田ヴィンヤード 自社畑(三笠市)	山崎 太地	有限会社山崎 ワイナリー 栽培担当	受講生のブドウ畑の現状と抱えている 課題について	
		柏木 淳一	北海道大学大学院農学研究院 講師		
		実山 豊	北海道大学大学院農学研究院 講師		
		影山 航大	タキザワワイナリー 栽培担当		
	タキザワワイナリー 自社畑 (三笠市)	柏木 淳一	北海道大学大学院農学研究院 講師	タキザワワイナリー 自社農園における 栽培管理について	
		実山 豊	北海道大学大学院農学研究院 講師		
近藤ヴィンヤード タブコブ農場 (三笠市)	近藤 良介	合同会社栗澤ワインズ 代表社員	近藤ヴィンヤード タブコブ農場における栽培管理について		
	柏木 淳一	北海道大学大学院農学研究院 講師			
	実山 豊	北海道大学大学院農学研究院 講師			
8月26日	受講生:三溝 礼子 チョコトゥルーファーム 自社畑(千歳市)	菅根 輝雄	北海道大学大学院農学研究院 連携研究部門連携推進分野 応用分子生物学研究室 教授	受講生のブドウ畑の現状と抱えている 課題について	栽培コース
		柏木 淳一	北海道大学大学院農学研究院 講師		
		齋藤 浩司	北海道ワイン(株)営業部 部長		
	チョコトゥルーファーム 自社畑 (千歳市)	柏木 淳一	北海道大学大学院農学研究院 講師	土壌調査の仕方～手作業による畑の土の採取方法の実演～	
		近藤 良介	合同会社栗澤ワインズ 代表社員		
		菅根 輝雄	北海道大学大学院農学研究院 連携研究部門連携推進分野 応用分子生物学研究室 教授		
近藤ヴィンヤード モセウシ農場 (岩見沢市)	柏木 淳一	北海道大学大学院農学研究院 講師	近藤ヴィンヤード モセウシ農場における栽培管理について		
	菅根 輝雄	北海道大学大学院農学研究院 講師			
	齋藤 浩司	北海道ワイン(株)営業部 部長			

北海道産ワインの現状と「北海道ワインアカデミー」の取組について

日付	場所	講師名	所属	テーマ	種別
9月3日 ～9月4日	北海道大学農学部本館 1階N11講義室、 北海道大学農学部 生物機能化学科学生実験室	小山 和哉	独立行政法人酒類総合研究所 成分解析研究部門 主任研究員	ワイン分析と工程管理 分析実習	醸造コース
		澁谷 一郎	独立行政法人酒類総合研究所 日本産酒類の産力強化連携支援コーディネーター		
		曾根 輝雄	北海道大学大学院農学研究院 連携研究部門連携推進分野 応用分子醸生物学研究室 教授		
		田島 大敬	北海道ワイン(株) 製造企画部 次長		
		佐藤 朋之	北海道ワイン(株) 製造企画部 次長		
		大見 佳明	北海道ワイン(株) 製造企画部 製造企画・品質管理課担当課長		
11月26日	北海道中小企業会館	齋藤 浩	メルシャン(株) 顧問	<オンライン講義>山梨におけるブドウ栽培について (山梨県ワイン産地組合の取り組みを事例に)	公開講座
		根本 学	北海道農業研究センター 生産環境研究領域 寒地気候変動グループ 主任研究員	北海道の気象データからわかること	栽培コース
		柏木 淳一	北海道大学大学院農学研究院 講師	受講者の土壌分析結果から推察されること	
		永橋 裕生	(株)丹波屋 札幌アグリ支店倶知安営業所 肥料課 次長		
		山影 悟史	(株)丹波屋 技術部栽培課 課長		
		根本 学	北海道農業研究センター 生産環境研究領域 寒地気候変動グループ 主任研究員		
12月3日	小樽経済センター	三浦 功	一般社団法人流通問題研究協会 相談役	<オンライン講義>コロナショック、これからのマーケティング <<生活者視点のマーケティング、私とワイン>>	マーケティング
		田村 茂	Office Igatta 代表	<オンライン講義>なんといっても商品か、商品づくりのキープoint	
		橋本 佳往	一般社団法人流通問題研究協会 専務理事	<オンライン講義> (パネルディスカッション) コロナ禍に おけるマーケティングをどう考えるか	
		三浦 功	一般社団法人流通問題研究協会 相談役		
		田村 茂	Office Igatta 代表		
		阿部 眞久	特定非営利活動法人ワインクラスター北海道 代表理事	財務と経営	
		前田 直樹	中小企業診断士		
		12月4日	小樽経済センター	吉村 明浩	
岩井 宏文	(株)積丹スピリット 代表取締役社長			事例研究・積丹クラフト産生のストーリーと戦略	
井ノ口 知良	チーズ工房白糠酪恵舎 代表			事例研究・誰がためにチーズを作る、俺は役に立ちたい	
橋本 佳往	一般社団法人流通問題研究協会 専務理事			決意表明	
12月16日	めむるワイナリー(芽室町)	廣瀬 秀司	めむるワイナリー(株) 醸造責任者	現地研修	醸造コース
	相澤ワイナリー(帯広市)	川上 晃	シンワフーズケミカル(株) 山梨営業所 所長		
		河西 由喜	北海道ワイン(株) 製造企画部 部長・醸造責任者		
	十勝ワイン(池田町)	相澤 一郎	あいざわ農園合同会社 代表		
		川上 晃	シンワフーズケミカル(株) 山梨営業所 所長		
		河西 由喜	北海道ワイン(株) 製造企画部 部長・醸造責任者		
		大淵 秀樹	池田町ブドウ・ブドウ酒研究所 製造係長		
	12月17日	モンガク谷ワイナリー(余市町)	木原 茂明		
ル・レーヴ・ワイナリー(仁木町)		川上 晃	シンワフーズケミカル(株) 山梨営業所 所長		
		河西 由喜	北海道ワイン(株) 製造企画部 部長・醸造責任者		
NIKI Hillsワイナリー(仁木町)		本間 裕康	(株)ル・レーヴ・ワイナリー 代表取締役		
		川上 晃	シンワフーズケミカル(株) 山梨営業所 所長		
		河西 由喜	北海道ワイン(株) 製造企画部 部長・醸造責任者		
		鷹 直之	一般農業法人 株式会社NIKI Hillsヴィレッジ ワイナリー醸造責任者		
12月18日		ホテルノルド小樽 2階ヴェンターナ	久本 雅嗣	山梨大学 ワイン科学研究センター 准教授	<オンライン講義>ワイン中のオフフレーバーについて
	川上 晃		シンワフーズケミカル(株) 山梨営業所 所長	醸造資材・機器のトレンド	
	久本 雅嗣		山梨大学 ワイン科学研究センター 准教授	<オンライン講義>ワイン中のポリフェノールについて	
	川上 晃		シンワフーズケミカル(株) 山梨営業所 所長	オフフレーバーを探るワインテイスティング	
	河西 由喜		北海道ワイン(株) 製造企画部 部長・醸造責任者		
	田辺 由美		<進行役>北海道ワインアカデミー 名誉校長		
1月21日	オンライン	添川 一寛	(株)林農園 製造部長	<オンライン講義> 長野・山梨研修 特別講義	道外研修
		味村 興成	(株)Domaine KOSEI 取締役社長		
		幸西 義治	丘の上 幸西ワイナリー		
		田村 隆幸	メルシャン(株)シャトーメルシャン 製造部長兼勝沼ワイナリー長		
		田辺 由美	<進行役>北海道ワインアカデミー 名誉校長		
		西岡 一洋	<オブザーバー>東京大学大学院農学生命科学研究科 微生物醸造学研究室 特任研究員		
2月12日	ホテルポールスター札幌 ポールスターホール	庄司 大輔	リーデル・ジャパン(株) ブランド・アンバサダー/シニアグラス・エデュケーター	グラス・テイスティング～グラス形状とワインの深い関係性～	公開講座
		田辺 由美	北海道ワインアカデミー 名誉校長	特別テイスティング講義	特別講義